

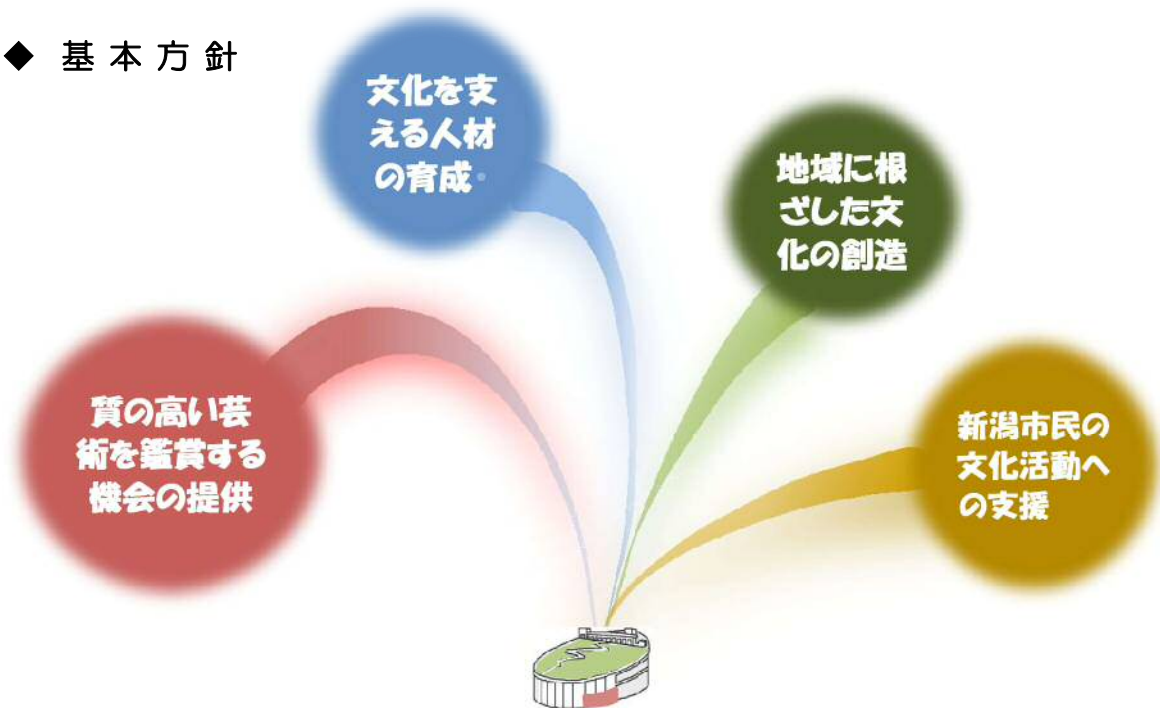
新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館

指定管理者

平成 26 年度 業務計画書

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

◆ 基本方針



- I.新潟市民の文化活動への支援 … 市民の自主的な文化活動を支援し、市民との連携による文化のまちづくりを目指します。
- II.地域に根ざした文化の創造 … 新潟市独自の発想による芸術を創造し、内外に発信することにより、文化レベルと都市イメージの向上を目指します。
- III.質の高い芸術を鑑賞する機会の提供 … りゅーとぴあの上質な施設を活用しながら、優れた芸術を紹介し、豊かで彩りのある市民生活づくりを目指します。
- IV.文化を支える人材の育成 … 幅広い年代とジャンルで人材育成を図り、市民文化の裾野の拡大と将来のさらなる発展を目指します。

当財団は、市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）と音楽文化会館（音文）の指定管理者として、上記の基本方針を踏まえ、平成26年度の自主文化事業を展開する予定としており、その概要は以下のとおりです。

I.新潟市民の文化活動への支援

芸術団体等と連携して各種講座やワークショップ、アウトリーチ等を積極的に展開して芸術文化の普及を図るほか、文化団体との共催により多様な事業を実施します。

クラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ2014」では、新潟市などで構成する実行委員会に参加し、構成団体等と連携しながら広範な集客を図ります。

1. 音楽事業

(1) オルガン普及プログラム

① りゅーとぴあオルガン講座

○入門講座

市民オルガン講座 …… ポジティブオルガン使用の半年コース

○基礎講座

ジュニアコース …… ポジティブオルガン使用の半年コース

一般コース …… ポジティブオルガン使用の1年コース

○応用講座

応用コース …… 大オルガン使用の1年コース

② オルガン・サマーデイズ 平成26年8月2日(土)

③ ニューイヤー・オルガンスペシャル 平成27年1月11日(日)

④ オルガン音楽隊 随時・通年

(2) その他普及事業

① りゅーとぴあ アウトリーチ事業 通年

② 気軽に音(おん)ステージ 《音文》平成26年6月1日(日)

③ おんぶん・リレーコンサート 《音文》平成26年11月21日(金)～23日(月)

(2) 共催事業

① ラ・フォル・ジュルネ新潟2014 平成26年4月25日(金)～27日(日)

② ウィーン・カンマーオーケストラ 平成26年6月7日(土)

④ 第62回新潟市芸能まつり 平成26年10月～11月 音文ほか

2. 演劇事業

(1) 普及事業

① こどもの劇場シリーズ「へんてこレストラン」 回数未定 平成26年8月末予定

② 第4回「芸術のミナト☆演劇祭」 平成27年3月1日(日)～15日(日)

③ りゅーとぴあ・演劇ワークショップ 年4回予定

(2) 共催事業

① 現代舞踊協会北陸支部合同公演 平成26年8月31日(日)

② 「劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」 平成27年1月18日(日)

3. 能楽事業

(1) 普及事業

- | | |
|----------------------|---|
| ① 若手能楽師による能楽基礎講座 年3回 | 平成26年6月18日(水)・8月30日(土) 平成27年1月24日(土) |
| ② 能楽ワークショップ(囃子) | 平成26年6月予定 |
| ③ 観世流 能楽鑑賞教室 | 平成26年7月26日(土) |
| ④ 能楽ワークショップ(狂言) | 平成27年1月予定 |
| ⑤ 「さわってみよう能の世界」 | 平成27年3月予定 |
| ⑥ 能楽体験教室 | 平成26年5～7月予定 |

Ⅱ. 地域に根ざした文化の創造

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信することにより、都市の魅力と活力の向上を図ります。

演劇部門では、「りゅーとぴあ発 物語の女たち」シリーズをバージョンアップし、26年度は、新作3企画と再演1企画を予定しています。

舞踊部門では、レジデンシャル・ダンス・カンパニーNoism1の春公演で、結成10周年を記念して、広く知られた古典に新たな解釈を加えた新作「カルメン」をNoism2と合同で上演し、斬新と親しみやすさという一見相反する2つの要素の両立に挑みます。

研修生カンパニーNoism2は、春の定期公演のほか、レパートリー作品を携えて市内・県内の学校や地域ホールでの幅広い活動を展開します。

1. 演劇事業

- | | | |
|-------------------------------|------|-----------------------|
| (1) 司馬遼太郎「燃えよ剣」～土方歳三に愛された女、お雪 | 1回公演 | (音文) 平成26年4月18日(金) |
| (2) 「エディット・ピアフ」 | 2回公演 | 平成26年10月1日(水)・2日(木) |
| (3) 「さぶ」 | 2回公演 | 平成26年12月17日(水)・18日(木) |
| (4) 「雪のひとひら」 | 1回公演 | 平成27年2月7日(土) |

2. 舞踊事業

- | | | |
|-----------------------------|------|-----------------------|
| (1) Noism1・2 春公演 劇的舞踊「カルメン」 | | |
| ○ 新潟公演 | 3回公演 | 平成26年6月6日(金)～8日(日) |
| ○ 神奈川公演 | 3回公演 | 平成26年6月20日(金)～22日(日) |
| ○ 兵庫公演 | 1回公演 | 平成26年6月27日(金) |
| (2) 金森 穰 新作公演「(演目未定)」 | | 平成26年12月19日(金)～21日(日) |

(3) Noism2 特別公演 2014

- 「水の滷ログ」新潟ODORI @滷 4回公演 平成26年 4月26日(土)・27日(日)
- みなとびあ・プロジェクト・マッピング 4回公演 平成26年 5月3日(土)・4日(日)

(4) Noism2 春の定期公演 2015 公演数未定 平成27年 2月21日(金)～23日(日)

(5) 育成・普及事業

- 対談企画「柳都会」 開催時期未定 (年4回予定)
- 市内中学校アウトリーチ事業 開催時期未定
- 高校生サマースクール事業 開催時期未定 (夏季休暇時期予定)

Ⅲ. 質の高い芸術を鑑賞する機会の提供

音楽事業では、東京交響楽団との提携による上質で幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい世界水準の演奏家の招聘や、オルガン、オペラ・コンサートなど音楽愛好者拡大のための演奏会、さらには、音楽文化会館でのコンサートなど、多様な鑑賞の機会を提供することにより、聴衆のレベル向上と、拡大に努めます。

演劇事業では、多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場制作の作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指します。

能楽事業では、りゅーとびあの特徴の一つである能楽堂を活用して、大人から子供まで楽しめる能・狂言を公演し、伝統芸術の素晴らしさを多くの市民に紹介します。

1. 音楽事業

(1) 東京交響楽団提携シリーズ

① 東京交響楽団新潟定期演奏会

| | | | |
|------|----------------|----------|---------------------|
| 第83回 | 平成26年 5月25日(日) | ベルリオーズ | : テ・デウム |
| 第84回 | 6月15日(日) | シューベルト | : 交響曲第8番ハ長調「ザ・グレイト」 |
| 第85回 | 9月23日(火・祝) | メンデルスゾーン | : 交響曲第4番イ長調「イタリア」 |
| 第86回 | 11月9日(日) | ベルリオーズ | : 幻想交響曲 |
| 第87回 | 12月14日(日) | ブルックナー | : 交響曲第3番二短調「ワーグナー」 |
| 第88回 | 平成27年 3月1日(日) | エルガー | : 交響曲第1番イ長調 |

- ② 東響定期+α No.6 日本センチュリー交響楽団 平成26年7月13日(日)
- ③ 東響定期+α ホルン「紅白歌合戦」 平成26年8月30日(土)
- ④ コンサートホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～5回公演
平成26年11月11日(火)・12日(水)
- ⑤ 特割コンサート 平成26年11月12日(水)
- (2) ピアノリサイタルシリーズ
Vol.32 アリス＝紗良 オット 平成26年6月11日(水)
- (3) 歌の花束シリーズ
Vol/22 ミラノ大聖堂聖歌隊 平成26年11月30日(日)
- (4) カルテットシリーズ
特別企画 1966カルテット 平成26年7月10日(木)
- (5) オルガンシリーズ
- ① 山本真希リサイタルシリーズ No.18 平成26年10月3日(金)
- ② オルガン・クリスマスコンサート 平成26年12月20日(土)
- ③ ルドルフ・ルッツ・オルガン・リサイタル 平成27年1月30日(金)
- ④ ルドルフ・ルッツ・オルガン・マスタークラス 平成27年1月31日(土)
- ⑤ 山本真希リサイタルシリーズ No.19 平成27年3月21日(土)
- (6) りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ
オペラ・コンサート 2015 平成27年3月15日(日)
- (7) ホール体験事業
- 1コインコンサート
- Vol.70 「オルガン」 平成26年5月11日(日)
- Vol.71 「金管五重奏」 6月19日(木)
- Vol.72 「ヴァイオリン」 7月2日(水)
- Vol.73 「チェロ」 9月5日(金)
- 1コイン・ガラ・コンサート 9月19日(金)
- Vol.74 「バンドネオン」 11月29日(土)
- Vol.75 「ピアノ」 12月10日(水)
- (8) その他
- ① コンサートホール企画連絡会議連携事業
～チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 平成26年4月17日(木)
- ② 茂木大輔のオーケストラ・コンサート Vol10 平成26年9月28日(日)
- ③ ネマニャ・ラドゥロビッチ・ヴァイオリンリサイタル 平成26年10月22日(水)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ④ オペラシアターこんにゃく座・オペラ「よたかの星」 | 平成26年11月 24日(月・祝) |
| ⑤ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 | 平成27年 1 月 4 日(日) |
| ⑥ // 「ニューイヤーコンサート」 | 平成27年 1 月 4 日(日) |

2. 演劇事業

- | | | |
|---------------------------|--------|-------------------------|
| ① 「THE BIG FELLAH」ビッグフェラー | 2 回公演 | 平成26年 6 月21日(土)・22日(日) |
| ② 劇団イキウメ「関数ドミノ」 | 1 回公演 | 平成26年 6 月28日(土) |
| ③ 「第二十六回 ふるまち新潟をどり」 | 2 回公演 | 平成26年 6 月15日(日) |
| ④ 「マクベス」 | 2 回公演 | 平成26年 7 月 8 日(火)・9 日(水) |
| ⑤ 白石加代子「百物語」第三十二夜(最終話) | 1 回公演 | 平成26年 8 月21日(木) |
| ⑥ 「春風亭小朝 独演会」 | 1 回公演 | 平成26年 9 月予定 |
| ⑦ 「人形浄瑠璃 文楽」 | 2 回公演 | 平成26年10月 1 日(水) |
| ⑧ 葛河思潮社 Vol.4 「背信」 | 1 回公演 | 平成26年10月12日(日) |
| ⑨ ナイロン100℃「社長吸血記」(仮) | 2 回公演 | 平成26年11月 1 日(土)・2 日(日) |
| ⑩ 「ショーシャンクの空に」 | 1 回公演 | 平成27年 1 月28日(水) |
| ⑪ NE/ST 第4弾 | ・1 回公演 | 平成27年 3 月予定 |

3. 能楽事業

- | | | |
|-----------------|-------|------------------|
| ① 春の能楽鑑賞会(宝生流) | 2 回公演 | 平成26年 5 月24日(土) |
| ② 茂山狂言公演 | 1 回公演 | 平成26年 7 月 5 日(土) |
| ③ 秋の能楽鑑賞会(観世流) | 2 回公演 | 平成26年10月26日(日) |
| ④ 野村万作・萬斎狂言公演 | 2 回公演 | 平成26年12月 7 日(日) |
| ⑤ 馬場あき子「能楽の楽しみ」 | 1 回公演 | 平成26年12月14日(日) |

IV.文化を支える人材の育成

音楽事業では、ジュニアを対象とした各種教室の実施などにより、明日の文化を支える人材の育成に努めます。

演劇事業では、「演劇スタジオ APRICOT」を実施して、子どもたちに演劇の世界への門戸を開き、その素晴らしさを体験できる機会を提供します。

1. 音楽事業

(1) 市民参加合唱団

- | | |
|--------------|---------------|
| ① にいがた東響コーラス | 平成26年 4 月～10月 |
|--------------|---------------|

(2) ジュニア等育成事業

① ジュニアオーケストラ教室育成事業

- ・ 第33回定期演奏会 平成26年9月14日(日)
- ・ クリスマス演奏会 《音文》平成26年12月23日(火・祝)
- ・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会 通年

② ジュニア合唱団育成事業

- ・ 第24回定期演奏会 平成26年7月20日(日)
- ・ 第37回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成26年8月17日(日)
- ・ クリスマス演奏会 《音文》平成26年12月21日(日)
- ・ 第2回 にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2015 平成27年2月14日(土)

③ ジュニア邦楽教室育成事業

- ・ 第19回定期演奏会 《音文》平成26年7月28日(日)
- ・ クリスマス演奏会 《音文》平成26年12月20日(土)

④ ジュニア音楽教室・第11回スプリングコンサート 平成27年3月29日(日)

(2) その他

- ① コンサートホール企画連絡会議 通年

2. 演劇事業

(1) 演劇スタジオ・キッズコース APRICOT

- ① 夏季公演 回数未定 平成26年8月中旬
- ② ツアー公演 回数未定 時期未定
- ③ 春季公演 回数未定 平成27年3月下旬

V. 自主事業を支援するための取組み

1. 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図ります。

- ① 広報・営業活動
- ② 音楽広報活動
- ③ 演劇広報活動

2. 調査研究諸費

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進のホールや優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めます。

3. 事業企画諸費

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、りゅーとぴあの魅力を内外に発信します。

- ① 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ② 専属オルガニスト

4. 事業管理経費

チケット専用センター運営事業、託児サービス運営事業、友の会運営事業などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めます。

1. 運営に関する基本的な考え方

(1) 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

- 施設の維持管理については、それぞれの機能を最大限に発揮すること基本にし
ながら、2館の一体的管理に向けて業務委託契約の仕様を見直し、契約の一本化
をさらに進めます。
さらに省エネ対策、業務内容チェックなどを実施し、コストの縮減とサービス
水準の維持に努めます。
- 消防訓練と大規模な地震を想定した防災訓練を年2回以上実施し、職員の対応
能力の向上を図り、併せて訓練の結果について検証を行います。
また、心肺蘇生法とAED講習会を定期的を実施するほか、停電や夜間の対応
といった危機管理体制を適時見直すなど、お客様の安心安全の確保と施設の維持
に努めます。
- 内部・外部の研修を通して職員のスキルアップを図り、施設の安全管理と市民
サービスの向上に努めます。
- 年末には、館内に職員手づくりのクリスマスツリーを飾りつけるなど、お客様
に楽しんでいただける雰囲気づくりに努めます。

2. 施設運営に関する業務

(1) 貸館業務

① 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

- 公共施設予約システムを活用して、2館で空満情報を共有し、お客様の要望に
応じた情報提供を行います。
- 舞台以外でも様々な利用ができる旨のチラシを作成し、市民や企業に配布する
ことにより、貸館利用者数の拡大を図ります。

② 市民芸術文化会館

- 新たなチケット販売管理システムを導入して、コンビニエンスストアでの発券
を可能とするなど、利便性のさらなる向上を図ります。

(2) 貸館利用受付時間

- ① 市民芸術文化会館 : 土日を含む毎日 9:30 ~ 18:00 (休館日を除く)
- ② 音楽文化会館 : 土日を含む毎日 9:00 ~ 17:00 (休館日を除く)

(3) 登録レセプションニストの配置

① 市民芸術文化会館

- 舞台芸術の上演時等に、引き続き登録レセプションニストを配置して、客席案内やクローク・ピュッフェ業務、チケット確認などお客さまに満足していただけるサービスを提供します。
- 登録レセプションニストのスキルアップを図るため、業務に必要な知識・技能を習得する研修会を定期的を実施します。

(4) 舞台技術スタッフによるサービス

① 市民芸術文化会館

- 引き続き、会館の舞台技術スタッフを配置して、舞台の仕込み時から、演出ノウハウや設備・機材の扱い方について、効果的な助言や指導を行い、安全、かつ利用者に満足していただけるサービスの提供に努めます。
- 舞台技術職員については、安全講習会や技術講習会への積極的な参加、他館との情報交換などを通じてさらなるスキルアップを図り、安全で上質なホール業務の継続に努めます。

② 音楽文化会館

- ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作についてアドバイスをするとともに、市民の舞台づくりをお手伝いします。
併せて、舞台技術スタッフのさらなるスキルアップに努めます。

(5) その他

(1) 市民芸術文化会館

- 一般市民を対象とした「バックステージツアー」を年6回実施し、普段は見ることができない施設の裏側を案内し、施設の魅力をより身近に体験していただくことにより、観客数の拡大を図ります。
さらに、今後も新たな発見・感動が生まれるような工夫を加えて行きます。

(2) 音楽文化会館

- ステージ体験型の「気軽に音ステージ」と日ごろの練習の成果を発表する「リレーコンサート」を企画し、市民にステージの雰囲気味わっていただくことにより、皆さまから親しまれ、愛される施設となるよう努めます。

3. 施設管理に関する業務

(1) 保守管理業務

① 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

- 法令等に基づき、2館の施設設備、舞台設備、楽器などの備品について、効率的かつ安全な保守・管理を実施し、安心・安全な施設の維持に努めます。

(2) 環境維持管理業務

① 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

- 法令等に基づき、清掃業務、環境測定、植栽管理を行い、衛生的で美観に配慮した環境の整備を図ります。
また、保安警備業務を実施し、会館内の秩序の維持と、お客さまの安全を守ります。

(3) その他管理業務

① 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

- 法令等に基づき、施設の整備や管理運営上必要な有資格者の選任、自衛消防隊の組織化、危機管理体制の整備と訓練を実施します。

4. 附帯業務

(1) 飲食サービスの提供

① 市民芸術文化会館

- 2F 軽食喫茶「セーリングカフェ」、3F イタリアンレストラン「リバージュ」6F 展望ラウンジ「柳葉亭」では、お客さまのお好みに応じて洋食・和食のメニューを提供して好評をいただいております。
また「リバージュ」では、年4回、新潟市で進めている「食育の日」に特別メニューを提供するなど、引き続き、きめ細かなサービスにより、憩いの空間づくりに努めます。

- コンサートホール、劇場及び能楽堂の公演時には、ホワイエにビュッフェを設け、開演前や休憩時にドリンク類やサンドウィッチなどを提供して、お客さまへのサービスに努めるとともに、軽食メニューに工夫を加えるなど、サービスのさらなる向上を目指します。

② 音楽文化会館

- 引き続き、2F喫茶レストラン「コル」を運営するとともに、各階に飲み物自販機を設置して、お客さまへのサービスの提供に努めます。

(4) インフォメーションセンター及びショップの設置

① 市民芸術文化会館

- インフォメーション・ショップでは、施設内や周辺一帯の案内、公演情報の提供、様々な問い合わせへの対応のほか、自主公演と受託公演のチケット、さらには関連グッズの販売など、事業に付随する多様な機能を果たしており、今後も、取扱商品の選択やレイアウトなどに工夫を加えるなど、利便性の向上と会館のイメージアップに努めます。

② 音楽文化会館

- 引き続き、受付窓口において、会館内外の情報提供や問い合わせに対応するほか、会館公演チケットの受託販売などを行い、来館者へのサービスの提供を図ります。

【館全体の目標値】

| 施設名 | | 平成26年度 | | |
|----------|----------|--------|----------|----------|
| | | 稼働率 | 入場者数 | 使用料収入 |
| 市民芸術文化会館 | コンサートホール | 89.0% | 347,000人 | 71,000千円 |
| | 劇場 | 78.0% | | |
| | 能楽堂 | 47.0% | | |
| 音文 | ホール | 74.0% | 181,000人 | 35,500千円 |

自己評価とマネジメントへの反映について

新潟市芸術文化振興財団は、市民芸術文化会館及び音楽文化会館の平成26年度から31年度の指定管理者として、毎年度の業務内容について厳格に自己評価を行い、その結果を踏まえながら、質の高い業務の維持と必要に応じた業務の改善に努めていきます。

1. 自己評価

- (1) 評価にあたっては、入場者数や来館者の満足度、施設利用率など、項目別に目標値を設けて、達成の状況を測ります。
- (2) 評価体系は、実績評価の体系を踏まえながら、弾力的に見直しを図ります。
- (3) 自己評価は、年度終了後に実施して自己評価書を作成し、指定された期間内に新潟市に提出します。

2. マネジメントへの反映

- (1) 自己評価書作成後、評価結果の分析作業を実施し、目標達成の要因分析、目標未達成の要因分析を行います。
- (2) 自己評価結果の要因分析後、要因分析に基づいた今後の指定管理業務の実施についての対策立案を行います。
そして、対策案を実施することにより、指定管理業務実施についての軌道修正を図ります。
- (3) 自己評価及び自己評価結果の要因分析、対策立案は、財団職員からなる検討チームが実施します。
その後、検討チームの検討結果を、所属長を中心とする財団内会議で議論し、財団としての要因分析、対策立案の最終意思決定を行います。
- (4) さらに、財団内での認識を共有するため、決定された対応策について財団内での周知を図り、必要に応じて職場研修を実施します。